

我が社における保安管理活動(優良販売業者編)



株式会社須山液化ガス

須山 光男

1 会社沿革

- 1887年 創業者須山鍋次郎「山正」を開業
 1924年 二代目須山信吉「須山薪炭店」として継承
 1948年 三代目須山幸吉「須山商店」として継承
 1989年 四代目須山光男「株式会社須山液化ガス」として継承

創業は1887年、創業者である須山鍋次郎が屋号を「山正」として薪炭業から始まり、2代目・3代目と事業が引き継がれ、1989年に筆者が4代目として事業を引き継ぎ、社名を現在の「株式会社須山液化ガス」として継承している。

栃木県県央を中心にLPガス事業の他に灯油販売、太陽光事業、住宅事業、天然水のホームデリバリーなど、多種多様な生活に関連する事業を展開している。

2 表彰履歴

- 1999年 第35回高圧ガス保安協会栃木大会優良販売事業者 栃木県知事奉彰受賞
 2002年 第39回高圧ガス保安協会全国大会優良販売事業者 全国高圧ガス会

長奉彰受賞

- 2005年 関東高圧ガス保安協会全国大会優良販売事業者 全国高圧ガス会長奉彰受賞
 2008年 高圧ガス優良防災事業所 栃木県知事奉彰受賞
 2009年 第45回高圧ガス保安協会栃木大会保安功労者 栃木県知事奉彰受賞
 2010年 関東高圧ガス保安大会優良防災事業所 経済産業省原子力・保安院長表彰受賞
 2011年 第48回高圧ガス保安全国大会保安功労者 社長 須山光男(個人) 全国大会高圧ガス会長表彰受賞
 2016年 栃木県中小企業団体中央創立60周年記念 栃木県知事表彰受賞
 2017年 第54回高圧ガス保安全国大会保安功労者 社長 須山光男(個人) 高圧ガス保安経済産業省大臣表彰受賞
 2018年 第55回高圧ガス保安全国大会優良販売事業者 高圧ガス保安経済産業省大臣表彰受賞

3 保安に対する考え方

当社では1989年の法人化以来、法定点検

は保安センターに一部委託しているが、それ以外は外部業者への委託はせず、すべて自社社員にて実施している。これは、ガス配管の漏えい検査、法定項目の確認、供給設備の期限管理、消費設備の経年劣化や不具合といった各項目を丁寧、確実に点検・調査することで、すべての社員の保安技術レベル、及び保安に対する意識の向上を目的としているためである。

自社点検であれば、ガス機器の正常な使用方法や交換時期、不具合を放置した場合に発生する事象や危険度、ガス警報器鳴動などの異常事態発生時の対処方法など、当社社員が直接お客様へわかりやすく説明することができる。それにより、ガスを安全にお使いいただくうえで必要となる知識・情報の理解度を深めることができ、消費者に起因する事故の未然防止策になると考えている。

また、現在在籍している女性事務担当者を含む43名すべての社員が第二種高圧ガス販売主任者、または液化石油ガス設備士のいずれかの資格を取得しているが、これもお客様の安全や不安を取り除くことを第一に考え取り入れた保安高度化の一環である。

女性事務担当者というと事務処理はもちろんであるが、お客様から緊急連絡が入った場合、事態の緊急性や危険度を判断し的確な対処方法をお伝えする重要な役割を担っている。その役割をより正確に実施するため、当社では毎月の検針業務に加え、供給開始時点検調査といった保安実務も経験させている。これにより、LPガス設備はどのように設置され使用しているのか、また異常事態とはどのようなものであるのかということをしかりと理解して身に付けることができている。そのため、ガスメーターの遮断時やガス器具

のトラブルに関するお客様からの問い合わせに対しても、よりわかりやすく説明することができ、結果としてお客様に安心してLPガスをご使用いただくことに繋がっている。

また、当社は自社施工へこだわりを持ち、10名を超える工事専任担当者を置いている。これにより、通常の配管工事や機器設置工事はもちろん、点検の際に発生した急な改善工事なども外部の工事業者に委託せず、すべて自社社員で対応する体制ができている。これは、ガス設備に関するノウハウの蓄積や想定外の出来事に対する対応力の向上に繋がっており、このような体制整備が頻発する地震や大規模災害発生時の緊急対応に機動力を発揮するものと考えている。

遠方のお客様に対しては、経済産業省の構造改善推進事業を受け、国際標準化されたUBAS集中監視システムの積極的な導入を進めている。これにより、検針業務の効率化を図ると同時に、ガス消し忘れ防止の確認や遮断に対する問い合わせ等への迅速な対応が可能となるなど、保安の高度化を一層強化している。

4 今後の抱負

栃木県は比較的自然災害の少ない地域ではあるが、近年の地震、豪雨、台風など例年にならない規模の自然災害が日本各地で相次いで発生していることで、改めて災害はいつでもどこで起きるかわからないということを深刻に受け止めている。このように災害が多発する中で、人々の防災に対する意識が高まっていることは間違いなく、ライフラインを担うLPガスの販売事業者として保安に対する取組みを緩めることはできない。今後もお客様に安心し

て安全にLPガスをご使用いただくために、法定点検、供給機器の期限管理の徹底など引続き基本を確実に守りながらも、ガス放出防止型張力式ホースや容器ベルトへの交換促進による自然災害対策など、より一層の保安の

高度化に向けて取組んでいく。

LPガスは有事の際の最後の砦であり、「環境にやさしく、災害に強いLPガス」の素晴らしさをお客様に伝えていくことで、地域社会から選ばれるパートナーを目指していく。

須山光男(すやま みつお)



©MPC